

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【公開番号】特開2013-35584(P2013-35584A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-174598(P2011-174598)

【国際特許分類】

B 6 5 B 43/50 (2006.01)

B 6 5 B 43/18 (2006.01)

B 6 5 B 43/26 (2006.01)

B 6 5 B 43/30 (2006.01)

B 6 5 B 43/46 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 43/50

B 6 5 B 43/18

B 6 5 B 43/26 A

B 6 5 B 43/30 A

B 6 5 B 43/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月8日(2014.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロータの外周に複数のクランプアームを備え、このクランプアームの先端にクランプが付設され、給袋機構から渡されたガセット袋を前記クランプで掴んで間歇回転しながら被包装物を充填して袋口をシールするロータリー式包装機であって、

前記給袋機構は、ガセット袋を供給する袋供給機構と、この袋供給機構からガセット袋を取り出して袋口を開口する袋取り開口機構と、この袋取り開口機構で開口したガセット袋の袋口内に一对のヘラを挿入して袋口の稜部を横方向に拡開する拡開機構と、拡開機構で拡開したガセット袋の上部をクリップで挟持してロータリー式包装機のクランプに受け渡す受け渡し機構と、を備えたことを特徴とするロータリー式包装機。

【請求項2】

ロータリー式包装機本体のガセット袋の供給工程において、横方向に拡開したガセット袋の綾部を、クランプで挟持する前に押さえ板で押さえる押さえ機構を備えた、ことを特徴とする請求項1に記載のロータリー式包装機。

【請求項3】

袋取り開口機構は、回動する袋取りアームの先端にガセット袋の袋口を吸着して昇降動する吸盤を備えた袋取り機構と、袋渡しアームの先端に固定吸盤ユニットと可動吸盤ユニットとを備え、前記袋取り機構からガセット袋を受け取る位置から、拡開機構に受け渡す位置の間を回動する袋渡し機構と、から構成されている、ことを特徴とする請求項1に記載のロータリー式包装機。

【請求項4】

袋取り開口機構は、同心の回動軸に、ガセット袋の一方の面を吸着保持して回動する第1

の吸着アームと、前記第1の吸着アームとは独立に回動可能で、第1の吸着アームが吸着したガセット袋面とは反対側の他方の面を吸着する第2の吸着アームと、が軸支し、ガセット袋を吸着保持した第1の吸着アームに、第2の吸着アームが追従して他方の面を吸着し、少なくとも前記第1か第2の何れか一方のアームが収縮又は伸長して袋口を開口する、ことを特徴とする請求項1に記載のロータリー式包装機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のロータリー式包装機は、ロータの外周に複数のクランプアームを備え、このクランプアームの先端にクランプが付設され、給袋機構から渡されたガセット袋を前記クランプで掴んで間歇回転しながら被包装物を充填して袋口をシールするロータリー式包装機であって、前記給袋機構は、ガセット袋を供給する袋供給機構と、この袋供給機構からガセット袋を取り出して袋口を開口する袋取り開口機構と、この袋取り開口機構で開口したガセット袋の袋口内に一对のヘラを挿入して袋口の稜部を横方向に拡開する拡開機構と、拡開機構で拡開したガセット袋の上部をクリップで挟持してロータリー式包装機のクランプに受け渡す受け渡し機構と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

ロータリー式包装機本体のガセット袋の供給工程において、横方向に拡開したガセット袋の綾部を、クランプで挟持する前に押さえ板で押さえられる押さえ機構を備えたことにより、クランプの挟持するガセット袋の両側の皺を防止できる。